

本の扉

9月号
2025.9.8

前橋東高校 図書委員会
3年5組

夏休みが終わって新学期が始まりました。みなさんは休み中にどんな本を読みましたか?図書室にはまだ面白い本がそろっています。気分転換や新しい発見に、本を手に取ってみませんか。秋は読書にぴったりの季節です。”本の扉”では今月もおすすめの本をたくさん紹介していきます!!



『スリジエセンター 1991』

(著者:海堂尊／出版社:講談社)

『スリジエセンター 1991』は、海堂尊による医療小説で、東城大学医学部を舞台に、世界的天才外科医・天城雪彦が部下の世良と協力し、心臓専門の「スリジエ・ハートセンター」設立を目指す物語です。資金捻出のためにウエスギ・モーターズ会長の公開手術を計画しますが、佐伯教授の急進的な病院改革に反対する勢力からの陰謀やアクシデントに巻き込まれ、医療の「革命」と天城と世良の夢の行く末が描かれます。ドラマ「ブラックペアン・シーズン2」の原作で、ドラマとの違いを読み比べているのもいいかもしれません。医療小説が好きな人や医療に興味のある人ドラマを見ていた人は、ぜひ読んで見てほしい作品です。

『あと少し、もう少し』

(著書:瀬尾まいこ／出版社:新潮社)

『あと少し、もう少し』は、瀬尾まいこによる青春小説で、陸上部が廃部寸前の中学校で、部長が寄せ集めのメンバーを募り、中学最後の駅伝に挑む物語です。元陸上部顧問の異動で、陸上経験のない美術教師が顧問となり、元いじめられっ子の設楽、不良の大田、頼みを断れないジロー、プライドの高い渡部、後輩の俊介など、様々な過去を持つ個性豊かな6人のメンバーがぶつかり合いながらも、県大会出場を目指し諱をつなぐ姿が描かれています。ぜひ読んでみてください。



『ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた』

(著者:ジャック・アンドレイカ、マシュー・リシアック 訳:中里京子／出版社:講談社)

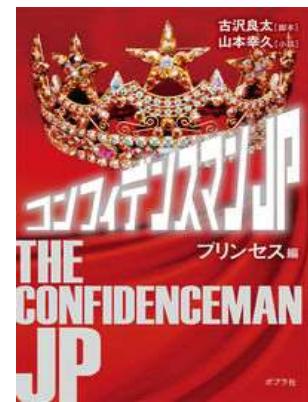
『ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた』は、15歳の少年が難治性ガンの早期発見法を自ら開発し、数々の困難を乗り越えて前進する実話ベースの物語です。いじめや自殺未遂、大切な人の死などと向き合いながらも、科学への情熱と努力で世界に挑む姿が描かれています。科学に興味のある人や科学が好きな人はぜひ読んでみてください。



『コンフィデンスマンJP』

(脚本:古沢良太 小説:山本幸久／出版社:ポプラ社)

世界有数の大富豪ラン一族の当主であるレイモンド・フウが亡くなり、莫大な遺産を巡って世界中の詐欺師が集結します。ダー子、ボクちゃん、リチャードの3人は、生きていたはずのレイモンドの娘ミシェルを名乗るコックリを使って、遺産を手に入れようと試みます。しかし、彼女の出生の秘密が明らかになります。ゲームは思いもよらぬ方向へ進んでいくことになります。この物語は他にもたくさんのシリーズがあり、話の展開が予想外でとても読み応えがあるので、ぜひ読んでほしいです。



『羊と鋼の森』

(著者:宮下奈都／出版社:文集文庫)

主人公の外村直樹は、高校でピアノの調律師・板鳥宗一郎の仕事ぶりに感銘を受け、調律師になることを決意する。専門学校を卒業後、板鳥のいる楽器店で働き始めた彼は、調律の奥深さに苦悩しながらも、板鳥や、同じ年の双子の姉妹・和音と由仁との出会いを通して、調律師として少しずつ成長していく。それは、まだ知らない自分を探す森の旅のようなものだった。この物語はピアノの調律師のお話で、読んでいて情景が浮かびやすく本を読むのが苦手な方でも物語に没入できると思うので、ぜひ読んでほしいです。

『サヨナラまでの30分』

(著者:大島里美／出版社:集英社文庫)

1年前に亡くなったバンドのボーカル・アキは、彼の遺品であるカセットテープを再生すると30分だけ入れ替わることができる不思議な力で、人見知りで音楽から遠ざかっていた大学生の颶太の体を借りて現れる。アキは、颶太の体を借りて生前のバンドメンバーと再会し、止まっていた彼らの時間を動かしていく。しかし、カセットテープが壊れてしまい、アキはいなくなってしまう。颶太は、アキの思いを受け継ぎ、もう一度バンドを始めようとメンバーに呼びかける。この物語は登場人物それぞれが個性的なキャラクターで読んでいてとても面白いです。バンドや音楽が好きな方は、ぜひ読んでほしいです。



貸出統計(6月1日～8月30日)

	1組	2組	3組	4組	5組	計	職員
1年	19	66	22	12	32	151	80
2年	82	22	27	0	6	137	
3年	10	19	30	6	1	66	
				合計		354	434

★図書委員会よりお知らせ★

・本日から朝読書週間スタートです。もし「手元に本がない!」という人は図書館で借りましょう!

・10月29日(水)LHRは、「LHRビブリオバトル」を実施します。1人あたり数分、自分のおすすめの本を紹介してもらう活動になるので、今から準備しておきましょう!!